

## □ 要請番号 (JL13918B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
サモア	G182 小学校教育		個別	交替 3代目	2年	・ 2019/1 ・ 2019/3



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ文化省

## 2) 配属機関名 (日本語)

サレアウラ小学校

## 3) 任地 (サヴァイイ島サレアウラ) JICA事務所の所在地 (アピア)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (船+バスで約 3.5 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

校舎はEUの支援により建設された公立の小学校。配属先は、首都のある本島ではなく隣島に位置する。サモアの小学校は1月開始、12月終了で4学期制であり、8年制で5-12歳までの生徒が在籍する。授業は日本と同様、担任の教師が全教科を指導する。サモアの公立学校は地域の代表者や保護者などで構成される学校委員会が運営しており、教育スポーツ文化省から教師が派遣されている。生徒数約115名、教師数7名。公立小学校は、生徒1人に対し約4,500円/年のニュージーランド・オーストラリアの援助を受けており、年間予算は約50万円。現在、JVが派遣されている(2019年7月まで)。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

サモアの教育分野の課題として挙げられるのが理科・算数の理解度が低いことである。小学校において計算の基礎を十分に理解しないまま中高等学校へ進学するため、授業についていけず、ドロップアウトしてしまう生徒も多い。そのため、小学校からの理科・算数の指導が重要であるが、授業は教師からの一方的な説明と生徒に板書を丸暗記させる手法が多くみられ、授業の質の改善が必要である。特に理科に関しては、理科室はおろか基本的な実験道具すらない状態であり、生徒の理解度は低い。また、理科・算数の専門知識のある教師がごくわずかしかおらず慢性的な教師不足となっているため、本要請となった。活動中のJVは4年生以上の算数の授業、座学以外の体育の授業、学習停滞時への学習支援を行っており、現地教師だけでは手が回らないことをフォローしながら活動している。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.4年生から8年生の理科および算数を主に担当し単独で授業を行う(20コマ/週程度)。
- 2.全学年の体育の授業を単独で行う。
- 3.学習停滞児の学習支援を行う。
- 4.教師の理科および算数の知識/能力改善の向上に努める。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

プリンター、パソコン、ラミネーター

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(50歳代、女性)  
同僚教師6名(20-50歳代)

活動対象者:主に4年生以上の生徒(サモア語習熟度により低学年もあり得る)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

**【資格条件等】**

[免許]：(小学校教諭)  
(教員免許(教科・校種不問))

[学歴]：(短大卒) 備考：現地教員の条件

[性別]：(女性) 備考：居住環境の関係上

[経験]：( ) 備考：

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(20~35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

**【特記事項】**

配属先敷地内にある職員住宅に居住することになる。